



日時	3月22日(木)～3月23日(金)
場所	岩手県陸前高田市
参加人数	29名(男性23名、女性4名、事務局2名)

● 活動内容



初日は、米崎地区の個人宅の跡地で、瓦礫の分別と撤去作業を行いました。

撤去作業は、大きな瓦礫や住宅の基礎などは、すでに重機により撤去されていたため、小さな瓦礫を分別しながらの作業となりました。

将来、この住宅跡地は畑にしたいとのことでした。その願いをかなえるため、地面の表面の瓦礫だけではなく、地面を30cmほど掘り起こすことにし、ふるいを使うなどして、小さな瓦礫まで取り除きました。



2日目は、気仙町漁連の要請により、長部漁港にて、側溝の泥の撤去を行いました。

側溝は非常に重いふたで閉まっており、苦勞してそのふたを開けましたが、泥が完全に乾いて固まってしまっている所もありました。そこでまずバールで泥を叩き崩し、それをスコップで掘り出すなど、困難な作業となりました。

側溝から掘り出した泥をそのまま側溝の脇に出しておくと、風雨により再び側溝に入ってしまうおそれがあるため、その後、側溝から離れた広い場所で掘り出した泥をならす作業も行いました。

参加者全員のチームワークにより、結果として予想以上の範囲の側溝を貫通させることができ、達成感もひとしおでした。